

目次:

- 事務局よりお知らせ
- 竹内 遼さん寄稿
- 奈佐有子さん寄稿
- 中村まり子さん寄稿
- 芥川雅之さん寄稿
- 児嶋きよみさん寄稿
- ハバネロメルマガ会員募集
- 会員様の宣伝コーナー開設
- ハバネロ質問コーナー開設
- 篠ファームのハバネロ栽培記



事務局からのお知らせ

9月22日にはNHK総合テレビ(関西エリア)「新ルソンの壺」に篠ファームが取上げられました。

京都発！ 新野菜を売り込め <http://www.nhk.or.jp/luzon/next.html>

暑い最中にずっと密着で撮影されたのは、もうすでに懐かしい思い出となっておりますが、放映後には様々な方との出会い、新しく一緒に取り組む事になった生産者と何を作っていくかと試行錯誤の毎日です。そして息つく暇もなく新しくまた動き出しています。

旬の野菜をつくっている篠ファームの取り組み、今後の動きは常にハバネロのように刺激的ですよ。



Bangladeshからの頼り 「 Bangladesh唐辛子紀行」が好評発売中！

Bangladeshからの便り 10月号

Bangladeshでは、スペースがあれば列車のどこに乗ってもいいことになっています（厳密には禁止されていますが・・・）。特等席は何と言っても屋上、そして連結部です。

写真をよく見ていただくと分かりますが、赤いチェックの服を着たおばさんが、膝を立てて連結部でくつろいでいます（この写真、動いている列車を撮ったものです）。皆、気持ちよさそうです。

このような光景を目にすることができるのは、世界でもそうはありません。観光地を周る旅もいいですが、人々の生活を見て周る旅も面白い。人間のドラマが見える Bangladesh。是非一度お越しください。列車の上に乗ることはお勧めしませんが・・・

RYO TAKEUCHI



奈佐有子さんのメキシコのお話

秋がだんだんと進んできましたが皆様お元気ですか？

先月9月はメキシコの独立記念日でした。9月15日その日は愛国心の強いメキシコ人にとって特別な日です。なんと9月いっぱい愛国月間とされていて9月に入るとみんな

お家の窓に国旗を飾ったり、大統領広場には派手な電飾が登場したりと国旗の色、赤、緑、白が街中にあふれます。ちょっとしたお祭り気分です。



“メキシコの国旗を街頭で売っているおじさん”

もちろんその日に食べる特別な料理もあります。

美味しいチレポブラーノ(ジャンボ唐辛子)を使った詰め物料理やポゾレと呼ばれるスープだったりします。が、又それは次回にご紹介として・・・

さて、その独立記念日を祝うお祭りが毎年日本でも行なわれています。

今年は大阪のスカイビルで行なわれたフィエスタメヒカーナに行ってきました。

メキシコ料理や雑貨の屋台テキーラバーなんかも出店してまして、メキシコムード一杯です。ステージではメキシコの民族舞踊や子供向けのアトラクションマリアッチも沢山出演で1日いてもメキシコ好きは飽きません！



“民族舞踊のダンス”

最終日の夕方にかけて盛り上がりは最高潮になるのですがメキシコ人なら誰でも知ってる

歌や曲が演奏されみんなで大合唱になります。

遠く離れた日本の地で聞く祖国の歌をどんな思いで聴くのかな～と嬉しそうなメキシコ人を見て私も温かい気持ちになりました。

皆さんも是非来年はフィエスタメヒカーナに参加してみてください、メキシコがぐっと近くなり少し旅気分が味わえるかも？しれません。



中村まり子さん寄稿

わが家のいつものメニュー+チリ ～ 野菜の篠マヨネーズ焼・グラタン風～

関東では朝晩寒いくらいに冷え込むようになりました。

寒くなると恋しくなるのは温かい料理。

そこで今月は篠ソースとマヨネーズを使った温かいメニューをご紹介します。

材料は冷蔵庫にある残り野菜とハム、ベーコン、エビなどを組み合わせて、なんでもよいのですが、今回のレシピは私のお気に入りのジャガイモ、ブロッコリー、ベーコンの組み合わせです。

材料(1人前)

ジャガイモ 1個

ブロッコリー 2～3片

ベーコン 少々

シュレッドチーズ または パルメザンチーズ
少々

篠ソース 適宜

マヨネーズ 少々(大2～3)

牛乳 少々



作り方

ジャガイモは適当にスライスしてフライパンで焼きます。

面倒くさいという方は、丸ごとラップして電子レンジでやわらかく調理してスライス、または軽くつぶしてもOKです。

ブロッコリーは下茹でまたは電子レンジで軽く火を通しておきます。

ベーコンはフライパンで焼いておくと香ばしいです。

マヨネーズに篠ソースを適宜加え、牛乳を加えてホワイトソースくらいの濃度までうすくのばして、混ぜておきます。

グラタン皿に ～ を入れて、 のソースがかぶるように回しかけ、シュレッドチーズがパルメザンチーズを上に乗せます。

オーブントースターで3～5分焼いて出来上がりです

ほら、美味しい香りに誘われて、お化けが飛んできました！

では皆様、Happy Halloween!!

(ハロウィンのお化けピック クレイ工房アトリエ MACO の作品より)

とんがらし芥川さん寄稿

こんにちは

今年は全国的に残暑も弱くて涼しい9月であったのではないのでしょうか。

こちら奈良では朝晩の冷え込みが強くなって、9月に11 という最低気温の日もありました。

7月から8月のお盆までの猛暑、その後じじめ、そして台風18号、その後はまた雨が一切降らない日が2週間続きました。今年の異常気象には振り回されました。

とんがらしたちは、屋外の畑のものはここまでよく頑張ってくれましたが、ここにきて少し元気がなくなってきて、今年は少し早めの10月後半には役目を終えそうです。

施設内のとんがらしたちは涼くなってから急激に大きく成長して、かわいい花と小さな青い実を沢山つけております。これから果実が大きくなって年明け2月まで収穫する予定です。

そして、9月からは収穫、乾燥、そして粉碎加工をしておりますので、辛味成分のカプサイシンの刺激で顔や手などこかがピリピリと痛い日が続いています。しかし、痛み = 収穫出来ている実感 で嬉しくて仕方ありません。

10月後半から収穫がスタートする施設内の激辛品種は油断禁物ですけど…。

今回は、とんがらしたちの様々な形をテーマに紹介させていただきます。

ご見学も大歓迎です！！ :とんがらし芥川 TEL0744-47-0744

現在の圃場の様子



モルガスコビーオン 2013.09.02. 2mほどになりました。



露地のとんがらしは最も美しい時期です。

ジョロキア3年生株は2m以上に成長しています。大きな樹が特徴のモルガも2m程度に成長しました。この施設には複数年の様々な品種が生きています。青い果実がびっしりと実っています。

10月号

様々な形のとうがらし



とうがらしらしい形 Orange Thai



見るからに辛そうな形 Bhut Jolokia



ハバネロを代表する歪な丸い形 CGN21500



辛いぞ！とアピール Carolina Reaper



帽子のような形 Bishop's Crown



UFO? Jamaican Hot Yellow

10月号



かぼちゃ？ Aji Brazilian Pumpkin



リンゴ？ Apple Alma Paprika



綺麗な卵型 Catarina



細長い Keriting



かぐらなんばん

児嶋きよみさん寄稿

2013年9月 GlobalSession Report (第254回)

期日:2013年9月7日(土) 10:30 12:00

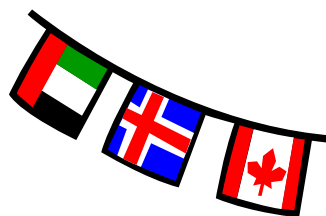
場所:ガレリア3階 第4会議室

ゲストスピーカー:William Berry さん

Coodinator:佃 れい子さん(向日市)

Title:Parents Expectations of Children (親の子ども達への期待感)

参加者:12名



いつもの自己紹介から:(同じことを言われると、暗記してしまうので、私が代わって言えてしまいます。毎回、関心のあることなど、いろいろ変化のある self-introduction を!)

TK:水彩画を描いていて、次の週にガレリアで展覧会があるので、どうぞ。

TM:ガーデニングなどの趣味をやっています。

SF:女房が William さんに、日本語を教えていて、自分はお茶を出すことをしています。(William:彼はいつも本当においしいお茶

10月号

をだしてくれています)

HT: 山口県出身で、14年間亀岡に在住。長男なので今日のテーマも関心があります。

SM: Native Kameokan

TO: 篠町の八幡神社近くに住んでいます。音楽を聴くのが好きで、コリアンドラマも好きです。

HI: 千代川町在住・船越さんの奥さんの友人・日本の文化の茶道・華道・和太鼓などをやっています。

MF: このメンバーのSさんの誕生パーティが最近、日航プリンスホテルであり、参加しました。NPOで映画村の仕事もしていて、加藤清正に取り組んでいます。

MM: 長岡京市在住(ラオス織物の紹介や展示会の主催と、現地での学校建設に取り組んでおられます)

佃: 単純な質問を3つします。あてはまる人は手をあげてください。

1. 長男であるひと
2. 兄弟の一番上であるひと
3. 配偶者がその兄弟の一番上であるひと

最初に、今日のテーマに沿って、自分の簡単な考えを述べます。第2次大戦以前は、日本では長男があとを継ぎ、その財産の全部を相続することが当たり前でした。現在は、父親が亡くなると、母親が半分を相続し、その残りを子どもたちが分割して相続することが一般的になってきました。この点から如何でしょうか？

TK: 私は、1944年生まれで、両親の最初の息子で、父親は、兼業農家で小さな農地を持っています。娘が二人いて、亀岡に住んでいます。両親と住んでいて、母は、3年前に亡くなりました。

SF: 財産項目の中には、両親の面倒を見ることもはいるのでしょうか？

TK: そうです。田舎では、長男が相続する代わりに両親の世話も見るのが当たり前でした。今後は、2人の娘と孫が継ぐでしょう。

佃: アメリカではどうですか？

W: 両親が死んだら、遺言書(will)に基づき、母親が50%を取り、その残りの50%を子どもが分割することになっています。生まれた順番は関係はないですが、子どもの数が多いと、相続分は少なくなり、難しいですね。4年前に父が死亡し、兄弟で分けました。母とは離婚していて、その母も再婚し、また離婚していたので最後は、母がよく面倒を見て居ました。それで、兄弟から父に母にも平等に分けるように勧めて、そのようにしました。(年金や生命保険)

MF: 分割する前に、相続しなくても良かったのですか？

W: 遺言書に書いてあったので。

佃: 遺言書は日本でも一般的になってきましたね。

TK: 昔は遺言書などは必要なかったのですね。これからは、私が死ねば、妻が引き受けるでしょうし、娘はすでにいっしょに住み、地面は分割して所有しています。

佃: いつ遺言書を書くかも問題ですね。一人息子しか居ない場合、その息子にも家族があり、そちらの両親を見なければならぬときもありますね。

TK: 確かに母が亡くなったとき、妻は多忙を極めていました。

W: 知り合いに仕事を突然やめると言ったひとがいて、その理由を聞くと、夫の母親の面倒をみなければならなくなったからでした。

佃: それは、めずらしくないですよ。現職で仕事をしている息子が、親の面倒を見に戻るといふこともあります。

W: HTさんに質問をしたいのですが、さっき、一番上の息子と言っていたので。

HT: わたしは、今32才で、父は67才・母は62才です。まだ元気ですが、将来は何とかして見ようと考えています。

W: HTさんは、考えると言っていますが、考えるだけでストレスフルではないですか？

KK: 二人は息子で親のことを考えていると言っていますが、私の二人の娘が私たちの将来のことを考えているとは思えません。二人は優しいね。

佃: 一番上の息子が引き取りを拒否したら、どうなるのでしょうか？

10月号

KK:私の母が亡くなった時、父母は87才と83才まで、二人暮らしができていたのですが、父は1人では住めなくて、弟は東京で仕事をしているし、自宅にあまり迷うこともなく、引き取ることにしました。小規模多機能型の通所式のケアハウスにすぐ入れて、自分で送り迎えをしながら、1年半ほど暮らしました。時々、宿泊をしたりして、自分達も旅行もできたのですが、帰宅した日などは、夜中にトイレの場所に迷ったりするようになり、グループホームか、どこかがないかと探すと、京都府で2番目の認可が下りたというケア付きマンションを紹介され、そこにすぐ入れました。今はとても安定していて、自分の部屋があり、トイレも部屋にあり、デイケアにも週に4日通う日々が続いています。すべてのケアを頼んでも、年金の範囲内でいけるので、充分いける状況です。

佃:このような福祉の体制は助けになりますね。

W:インターネットで調べると、日本は、Eldery Population(oldとは言っていません)が世界で一番多いと言われています。ライフスタイルが安定し、健康も、食べ物も充分であるという意味でもあると思います、問題というわけではないのですが、この多いという現実には政府が考えなければならぬのではないのでしょうか？2週間ほど前のお盆に病院へ 検診に行ったら、年配の人でいっぱいでした。びっくりしました。

佃:在宅で、看護師さんやヘルパーさんにきてもらうような方法もできるようになりましたね。

W:スエーデンなどは進んでいると聞いていますが、

MF:アメリカ・カリフォルニアの施設を訪ねたとき、大きな庭があり、大きなアイスクリームの入れ物が出て来て、みんなで分けるのです。そこに住んでいる人達もおだやかできれいな様子で話をしていました。天井も高く、とても環境が良いと思いました。

一番上の姉が病院に入ったこともあり、どのような施設がいいかと関心を持つようになりました。

W:アメリカはそのような施設は、とても高額だと思います。月に30万円から50万円くらいでしょう。公共の保険制度もないし。

KK:Williamさんは、日本にいたほうがいいのかもかもしれませんね。

W:そうです。健康保険証もありますし。

KK:昔、OSUに日本から学生を送り出していたころ、手術が必要なことが目に見えてわかっていても、「保険証はあるか？」とまず、聞かれたことがあります。そのようなこともあろうかと、事前に、わたしが、一番最初に取り組んだのは、アメリカで使える保険のことでした。アメリカの保険事情をよく知る保険会社の人と組んで、時間をかけて調べ、当時ではこれが一番だろうという保険の内容を作りました。その方は直ぐに自分の保険エージェンシーを東京の麻布で作り上げましたが、今も親しい友人です。

W:アメリカにいた日本人学生の知り合いは、私的な保険を持っていなかったのに、日本に帰国し、治療をしてまた、アメリカに帰ったことがあります。

MF:それで、オバマ大統領は、保険を作ろうとしたのでしたね。

W:オバマさんは、そうしたかったのですが、できなかったのです。そうすると、プライベートの保険会社が、自分達がつぶれると、大反対運動をしたのです。

TK:私も最近目の手術をしましたが、保険がなければ、3百万円(?)くらいははずですが、全部入っていた保険会社が支払い、支払い後に残額があったくらいです。

MF:目の病気ですか？

TK:白内障です。2.3ヶ月は、字を読むときは眼鏡が必要ですが、その後はいらないうで。

MF:白内障は、英語で「Contaract」ですね。

TK:2.30分の手術でした。

佃:昔から英語で「スプの冷めない距離に住むのが一番」ということわざがあると思いますが、これについてはどうですか？

W:自分のプライベートな生活もあるはずで、20年から30年間離れて暮らしていると、親にも独自の生活の仕方があると思います。近くに住んで、それぞれの暮らし方をしたほうがやりやすいのではないかと考えています。

MF:都会にいる子どもがいっしょに住もうといてもいやな親もいるでしょうね。娘の娘の両親と住む場合もあるでしょうし。

W:例えば、親も大阪に住んでいたら、保津町に住めと言っても難しいかもしれませんね。

このような子どもの呼び寄せのような習慣は続くと思いますか？思っていなかった予想外の事態ではないでしょうか？

佃:ゆっくりですが変化してきていると思います。

10月号

W:それは、悪い方でしょうか？

SM:ぼくらが若いときには3世代が同居していました。当時はいっしょに住む理由があったと思います。祖父母は、生活習慣を孫に教え、母は娘に漬け物の作り方などを教えていました。伝えていくそれぞれの伝統文化があったのだと思います。

W:若い人の人口が減っているとも聞いています。また、その若者が子どもを産まなくなって来たようですね。そのため、環境も変わってきたのだと思います。

SM:60年ほど前に、高校生だったとき、京大の湯川秀樹さんが、ノーベル賞をもらったというニュースがありました。当時、その湯川さんと孫娘さんが鴨川べりを散歩している写真が新聞に掲載されていました。それを見て、私は、教授と孫娘さんがいっしょに歩くというのは、絵になるなあと思ってしていました。

お互いに持っていないものを出し合っているなと思って。(若さと知識)

KK:孫の面倒を見ることはよくありますよ。娘達も働いているので。

W:最初は、夫の親を妻がみるといことがとても不思議だったです。

佃:アジア圏の人達は、日本に似たような形を取っているようですね。

W:アメリカでは、自分が生まれる前から、形態は変わりつつあり、女性も働き出していました。韓国や中国もそうやって来ていますね。

MF:アメリカでは女性も仕事をしなければ、ルーズな人と思われるようですね。

KK:フランス人もそう言っていて「仕事を持っていない」ことがわかると、「そんな人は話をする値打ちがない」と言われ、パーティがあっても誰も話しかけてくれないこともあるようです。

W:最近アメリカでは、主婦を「House Wife」とは言わず、「House Maker」というそうです。掃除も子育ても大変いそがしい仕事です。男性の「House Maker」もいます。女性も働き、キャリアを持つ女性も増えて来ました。この頃は、両方が働くのは普通になって来たのではないのでしょうか？

MF:昔Wさんが、学校から帰るときは、どうしていたのですか？

W:父が学校へPick Upしていました。その後、父母は離婚し、年長の自分は、下の子の面倒をみなくてはならなくなり、大変でした。

MF:最近アメリカで、75歳の婦人が年下の男と結婚式をあげたというニュースを見ました。結婚するという理由は、「若くいるため」だそうです。70歳以上の日本人はどうでしょう？

W:親と高齢になってから住むのは大変とは思いますが、日本では、農業などで高齢の人も家の周りの仕事などできることが多いですね。

佃:亀岡に来ると、とても緑が多く、美しい景色が続きます。先日電車の中でみたのですが、おんぶ紐を夫が担ぎ、子どもをおぶっていました。若い夫は、昔より子どもの面倒をよく見るようになったのではないのでしょうか？昔は「男子厨房に入らず」なんて言っている人もいたと思いますが、この点も変化した点でしょうね。

W:私が日本語の勉強に行くと、先生の夫のSさんは、いつもおいしいお茶を入れてくれますね。アメリカでは、私が生まれる前からそのようであったと思います。「自立しなさい」と子どもの時から言われて育ったと思います。今は、「ゴミを捨ててください」「はい」と言って捨てますが。

KK:言われる前に、やって始めて自立と言えるのでは？

MFさんは、以前何かを料理して作ろうとしたら、「キッチンへ入らないで」とおくさんに言われて以来、入らないようにして言っていないでしたか？

MF:今は朝食は、毎日自分で作るようになりました。フレンチスタイルとか、毎日変えて。息子がまだ小さい時に、家内がいなくてキッチンへ入らないように、外に食べにつれて出ていました。ところが、息子は、スーパーで弁当を買ったりするんですよ。それを持って帰って家で食べていました。

佃:日本でも30年か40年前から急に変わってきたのではないのでしょうか？

10月号

W: アメリカでも 1990 年ころから急に変化があったと思います。

KK: アメリカのお母さんが日本に来ていっしょに住むのは難しいのではないですか？

W: もうすぐ、60 才になるのですが、ずっとニューヨークに住んでいました。家族は今 は別々のところに住んでいるので、将来は、家族の住んでいるところの近くに行って住むと思います。

KK: HT さんや William さんは、若いのに、若い親の将来を考えていますね。なかなか優しいですね。

さて、いかがでしたでしょうか？ William さんの「本当に子どもが仕事をやめてまで戻って介護などをしてほしいと親は願っているのでしょうか？」という問いに、セッションで答えが出たのでしょうか？これは、いろいろなケースを知って行く上で、その場になったときにどうするかを、できたら、親が元気な内に相談しておく必要があるのではという思いにかられる終了時となりました。

物理的には、保険なども含めて日本の方が確実と思える意見も出ていました。アメリカの格差は大きいので、まだ、日本の高齢社会の方がましかなとか。それにしても、子どもの数がどんどん減って来ている今、どうしたら、女性が子どもを持って働き続けられるか、また、親が介護が必要になっても、仕事をやめないで、公的・私的福祉支援策に頼ることができるのかなどさまざまな事案が指摘されてきました。

共に考えて行く課題であると思います。

今後のご案内

1. 10月13日(日) 京都市国際交流会館で、GlobalSession 開催
(1:30 3:00)

ポルトガルの服飾史(濱田雅子さん)日本語でセッション！
「ポルトガルの民族衣裳の地域別特性」

NPO 法人京都生涯教育研究所共催

- *ポルトガルと日本の強いつながりは、ことばにも
「カッパ」は、ポルトガル語ですよ。知っていましたか？
- *ポルトガルから始まった近世初頭の大航海時代
- *西洋文化を日本にはじめて紹介したポルトガル
- *天正遣欧使節団は、ポルトガルを訪問！
- *風土の多様さを衣裳で衣裳の変化で味わってください。
ポルトガル人のこころの豊かさと共に！

2. 10月19日(土) 京都府国際センターで (2:00 4:00) パルヨン主催
京都府国際センター・京都市国際交流会館後援

外国人のためのハラスメント研修会

(外国につながる人だけでなく、仕事や学校でも関心
のあるかたはどなたでも)

Office Com Junto

〒621-0815 亀岡市古世町1丁目2 - 41

児嶋きよみ

tel: 0771-23-6579

e-mail : kiyomi-kojima@gaia.eonet.ne.jp

10月号

日本語講座がはじまっています。(日曜日 10:30~11:30)

ガレリア3階 会議室(みぎはし)

- *日本語の読み書きをもっとやり、力をつけたいひと
- *はじめての日本語をまなびたいひと

レベルごとに先生がつきます。(レベルごとのテキストで)

子どもさんごいっしょにどうぞ。べつのへやで、いっしょにあそんだり
しゅくだいもいっしょにしましょう。

英語で、中国語で、ご自分の国のことばで話し合うおともだちもいます。

9月:1日(終了)・8日(終了)・15日(終了)・22日(終了)

10月:6日・20日・27日

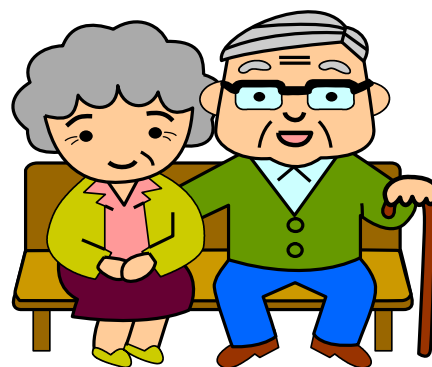
連絡先

〒621-0806 亀岡市余部町宝久保1-1

ガレリアかめおか内 亀岡国際交流協会
(公財)生涯学習かめおか財団(井尻)

tel:0771-29-2700

e-mail:kikaku@galleria.city.kameoka.kyoto.jp



おしえることをやってみたいかたもどうぞ。見学してください。

中身のあるおつきあいがはじまります。力をもっている方も、出し足りない方は、是非、
このようなかたちでご自分の力をためしてみてください。(シニアの方で何かしたいと思っ
ていて、外にあまり出なかった特に男性の方は、いかがでしょうか?)

「ハバネロメルマガ会員」ご参加お勧めください。

ハバネロに関心を持たれておられる方がお近くにおられましたら是非お誘いください。

申込みは簡単で、ホームページより申込みに必要事項をご記入頂き、事務局へお送りしていただけるだけで登録完了です。また、
いつでも退会出来ますのでお気軽にお申込みください。

メルマガ会員の方には特典も考えております。

http://www.shinofarm.jp/habanero_tomonokai.htm

事務局

会員の皆様の宣伝コーナー開設いたします。

ご自分の会社やお店の宣伝・自己紹介など、案内したい内容がありましたら投稿してください。

行政関係の方もどんどん投稿してください。

ハバネロ以外でも全く問題ありませんので、会報誌を活用していただけたら幸いです。

原稿の締め切りは、毎月5日までお送りいただけましたら幸いです。

10月号

当月の10日頃をめどに、会報誌に掲載して配信致します。

原稿の送り先は、事務局(info@kyoto-habanero.com)宛にお願いいたします。

事務局

「ハバネロなんでも質問コーナー」開設中

事務局(info@kyoto-habanero.com)宛にご質問いただければ、直接ご質問者にお答えすると共に、承諾いただいた内容は直近の号でも紹介したいと思います。 匿名希望の方は「匿名希望」と伝えてください。

事務局

篠ファーム ハバネロ栽培記

今年の早魃と台風の影響で全体的に収量が落ち込んでしまったので、予定していた数量の80%程度になるのではないかと推測しております。

また、世界で一番辛い唐辛子としてギネス登録されたトリニダードスコープオンの試験栽培は予想以上によく育っていて来年度に向けて手応えを感じております。

